

鉄砲洲神社詩吟 素読論語解説
(平成 26 年 6 月 13 日)

【五】子曰く、徳有る者は必ず言有り。言有る者は、必ずしも徳有らず。仁者は必ず勇有り。勇者は必ずしも仁有らず。

孔子が言うには、仁徳がある人は必ず立派な言葉を使う。しかし立派な言葉を使う人間がすべて必ず仁徳があるとは限らない。仁徳がある人は必ず本当の勇気があるものです。しかし見た目に勇気がある人間が、すべて仁徳のある人物とは限らないと思ってください。

ごく当たり前の話です。これはそのまま、口先だけ立派でも中身が伴わない人が多いと捉えればよいと思います。

今でいけば、中国や北朝鮮が日本を攻めこむとなった時に、日本はどのような対応をするか。外国が攻めてきたら、ちゃんと対応をして迎え撃つべきであると勇ましい言葉を発している人間が、その時になったらさっさと逃げてしまうだろうし、態度をきちんと明らかにしていない人間の方が、身を張って敵に対応するものだろうと思います。逆のことが世の中けっこう多いものです。

現在アベノミクスが少し見えてきました。アベノミクスの安倍さんは、ちゃんとしたことを言っているように見えるけれど、本当に仁徳がある人間かは分からないし、ちょっとおっかないという風に、この文章から類推しました。

今度は国民投票法で、4年後には18歳以上の人間が選挙権を持つと決まりました。決まったばかりです。少子高齢化で若者がいないから、18歳以上を大人と見なすこととなります。徴兵制を復活させるときに、ちょっと早めに手当てをして18歳から戦場に送り込むことが可能であると伏線を張ったなと感じました。そういうことをあまり言わせないようにスッと通したなと思うのです。マスコミでは一言もそのようなことは言っていません。

18歳で選挙権を持つという定義付けはそういうことです。大人の定義付けが国によって違いますが、スイスの場合にはあからさまです。若いうちから軍事訓練をさせて、国防意識を高めています。日本の場合は、18歳以上は戦争に行きなさいという動きが始まったと捉えました。